

夜の冒険



活動内容	暗闇に聞こえてくる夜風に揺れる木々の音や夜行性の鳥の声に耳を傾けながら、研ぎ澄ました感覚の中で、わずかな明かりを頼りに松林や海浜を散策することで、友情を深めができる活動です。森林コースと海浜コースがあり、それぞれに設置された標識に沿って散策します。		
------	--	--	--

対象	必要時間	活動人数	活動形態
小学生以上	1~2時間	200名程度	グループ(4~6名)
活動場所	必要引率者	活動適正時期	自然・感性 <input checked="" type="radio"/> 創意工夫 <input type="radio"/>
森林コース、海浜コース	コース案内係・安全管理	通年	主体・計画 <input type="radio"/> 協調・協働 <input checked="" type="radio"/> 粘り強さ <input type="radio"/> 人間関係 <input checked="" type="radio"/>

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」職員
	事前	【打合】連絡会議(会議室) 集合場所、参加人数、活動内容、貸出物、コースの確認 【準備】貸出物を受け取り、コース案内係を配置 実施までにコース下見	【打合】連絡会議(会議室) 【準備】貸出物の受け渡し
活動	活動	【集合】スタート地点(つどいの広場、キャンプ広場) 【出発】注意事項を確認し、出発する ①グループごとに時間をずらしてスタート(3~5分) ②コースを周回(20~30分) ・懐中電灯はグループに1個以上が望ましい ・グループ数が多い場合は別のコースで行う ・分かれ道、曲がり道には案内標識の設置あり ③人数の把握、怪我の有無を確認	
	事後	【解散】研修生は引率者の指示に従う 【片付】貸出物品の返却	【片付】返却物品の受け取り

引率者の役割	・本部対応、コース案内役を決め、安全に活動できるよう指導する ・案内役はマップ内★印の分岐点に配置(推奨4人以上)
活動の留意点	・活動場所について確実に事前踏査を実施する。(活動範囲を事前に把握する) ・借用物の紛失に注意する。 ・活動中は野生動物に十分注意し、発見時は事務室に連絡する。
「玄海の家」で準備できるもの	指導者用コースマップ、肝だめし用の道具
利用団体で準備するもの	懐中電灯、雨具、救急医薬品、虫よけグッズ、長そで・長ズボン(推奨)